

令和 2年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実績報告書

区市町村名	府中		
学校名	府中市	立	四谷小学校
1 事業目的	協議会名	四谷小学校グリーンプロジェクト	

○芝生の維持管理や校庭芝生を活用したイベントを通し、学校、家庭、地域社会が理解を深め子供の健全育成や地域の教育力の活性化を図る。
 ・児童の環境保全意欲を高めるとともに、持続可能な社会づくりへ向けての実践的な態度を養う。
 ・児童の体力向上を図り、健康・安全への態度を養う。

2 主な取組と成果

○校庭芝生化推進協議会(四谷小グリーンプロジェクト)を継続・運営し、打ち合わせ会をもつことで、校庭芝生の維持・管理体制や有効活用について検討し、学校・地域・健全育成団体・PTAとの共通理解を図ることができた。

○芝生を活用した行事を実施することで、芝生に対する理解や地域の輪が広がった。

3 取組内容

- 1 四谷小グリーンプロジェクト会議 実施日 8月3日(月) 10名参加
 対象者 四谷小グリーンプロジェクトメンバー(四谷小教職員、PTA代表、YNキッカーズ、
 四谷スワローズ、地域の会 各代表)
 主な議題 芝生管理作業の計画、日程調整 今年度の芝生イベント(グリーンフェスティ
- 2 夏芝の整備活動
 ・実施日 令和2年7月、8月(全5回) ・参加者 学校、保護者、地域ボランティア
 保護者 30名
 ・主な内容： 夏芝の手入れ(主に苔取り) 生育状況の観察 校庭への補植作業
- 3 地域団体によるスポーツ交流試合
 ・実施日 令和2年11月21日(土)
 ・対象 児童、保護者、地域住民 ・参加人数 約60名
 ・主な内容： サッカーの試合



4 今後について

○芝生に親しみ、活用が増えれば増えるほど、芝生が荒れてしまい維持・管理作業の手間や養生期間が長くなってしまいうため、バランスを取った活用を考えることが課題である。
 ○芝生の活用や維持管理に対する思いが人それぞれであるため、校庭芝生化推進協議会(四谷小グリーンプロジェクト)において、そのような思いを受け止めつつ、明確な方針を示すことが課題である。
 ○本校において、学校と地域が連携するための仕組みはできている。今後、管理職、教員等の異動があった際も、この仕組みを継続機能させることが重要である。
 ○今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、例年行っている「四谷小グリーンフェスティバル」という大きな行事が実施できなかった。来年は復活させて、その後も継続したい。
 ○昨年度に引き続いて、業者(栗芝)の対応がとてもよかった。そのお陰で、芝生が美しく保たれている面が大きい。今後も同じ業者に依頼したい。